

平成26年度 大学図書館職員短期研修

# 和本文学リテラシー ： 和古書の特徴と組織化

---

山中秀夫（天理大学 総合教育研究センター）

平成26年10月 8日（水） 京都会場（京都大学附属図書館）  
平成26年11月12日（水） 東京会場（東京大学附属図書館）

# コンテンツ

和古書の範囲と特徴

```
graph TD; A[和古書の範囲と特徴] --> B[和古書における「識別」]; B --> C[識別性向上のための書誌情報]; C --> D[和古書目録作成の支援]
```

和古書における「識別」

識別性向上のための書誌情報

和古書目録作成の支援

# 和古書の範囲とその考え方

## 『日本古典籍書誌学事典』 「古書」

- 江戸期までの刊本・写本

## NACSIS-CAT 和漢古書取り扱い

- 江戸時代（1868）までの刊本・写本

## NDL和古書細則

- 日本文，江戸時代（慶応4年）までの刊本・写本

## NCR1987R3 用語解説「和古書」

- 日本人が編著，日本文，江戸時代までの刊本・写本

# ポイント

資料の年代で区分



作成方法



手作り資料 = 少量生産・希少性・非代替性

# 和古書資料（群）の特性

## 1. 不安定な書名

- 表示箇所によって異なる書名，不表示資料

## 2. 書写資料の多さと系統の存在

- 近世以降も続く写本作成と異本・系統

## 3. 版木再利用による多様な出版と刊印修

- 複雑な近世印刷資料の出版・流通

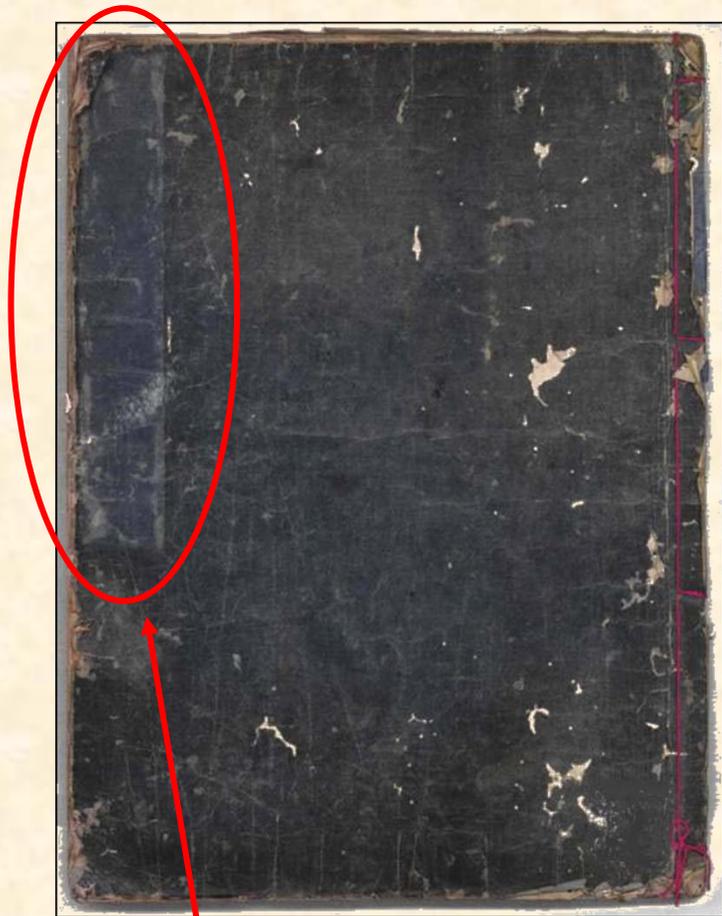
# 1. 不安定な書名

近現代刊行資料に比べ書名が不安定

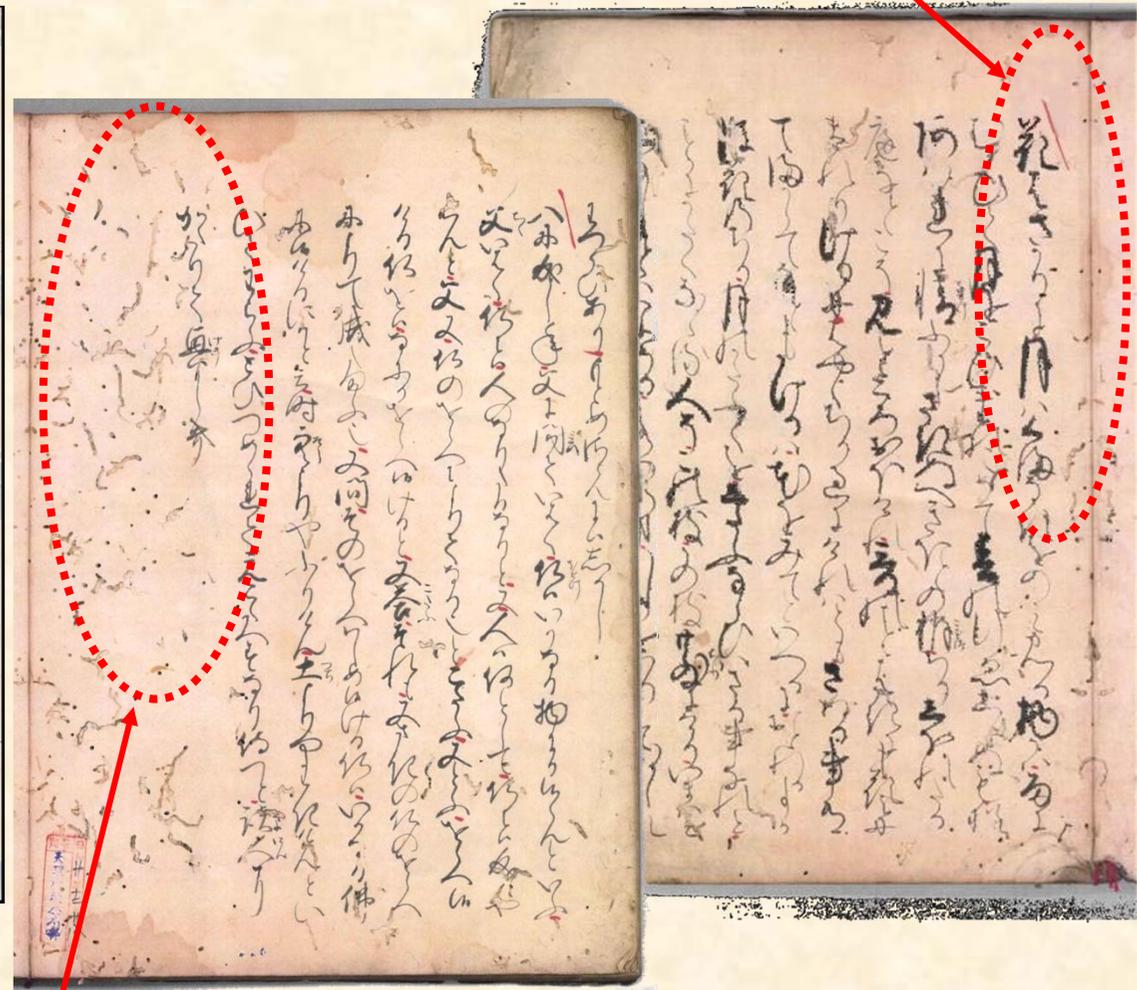
時代や分野によって、資料に書名の記載がない  
記載箇所によって、書名表示が異なる  
版木の再利用の際、改題される

# 書名の記載がない例

巻初に書名なし



題簽の剥離跡

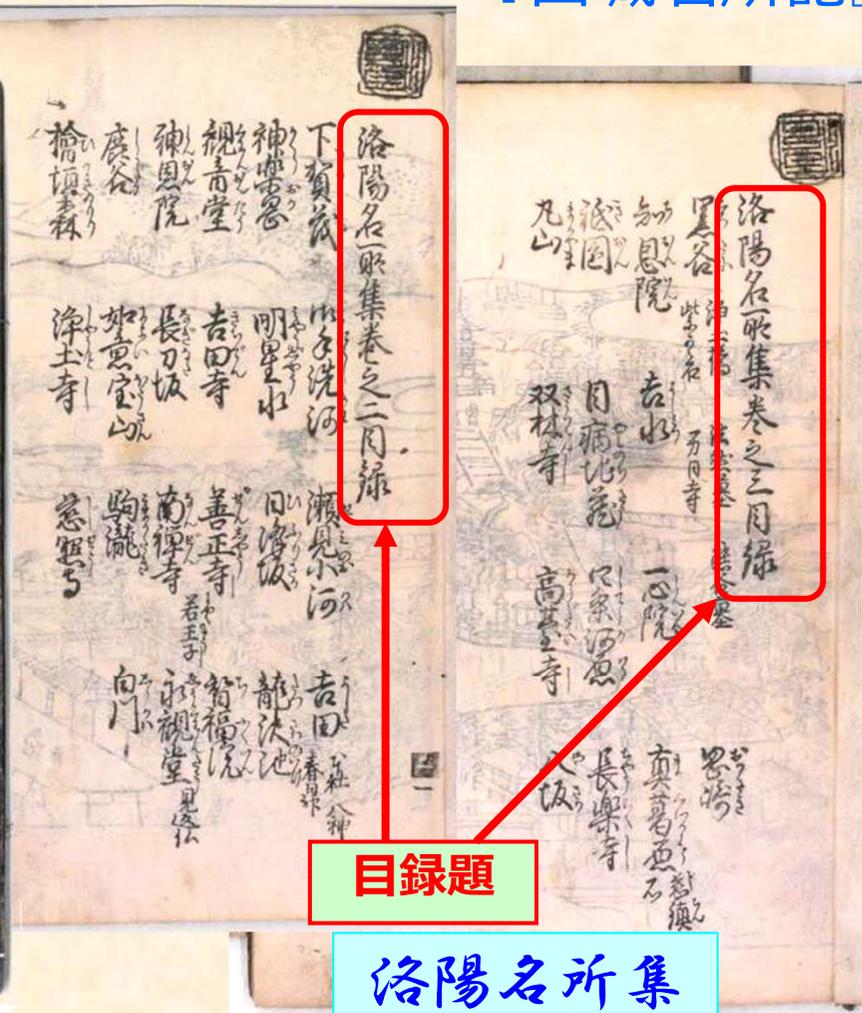


巻末に書名なし

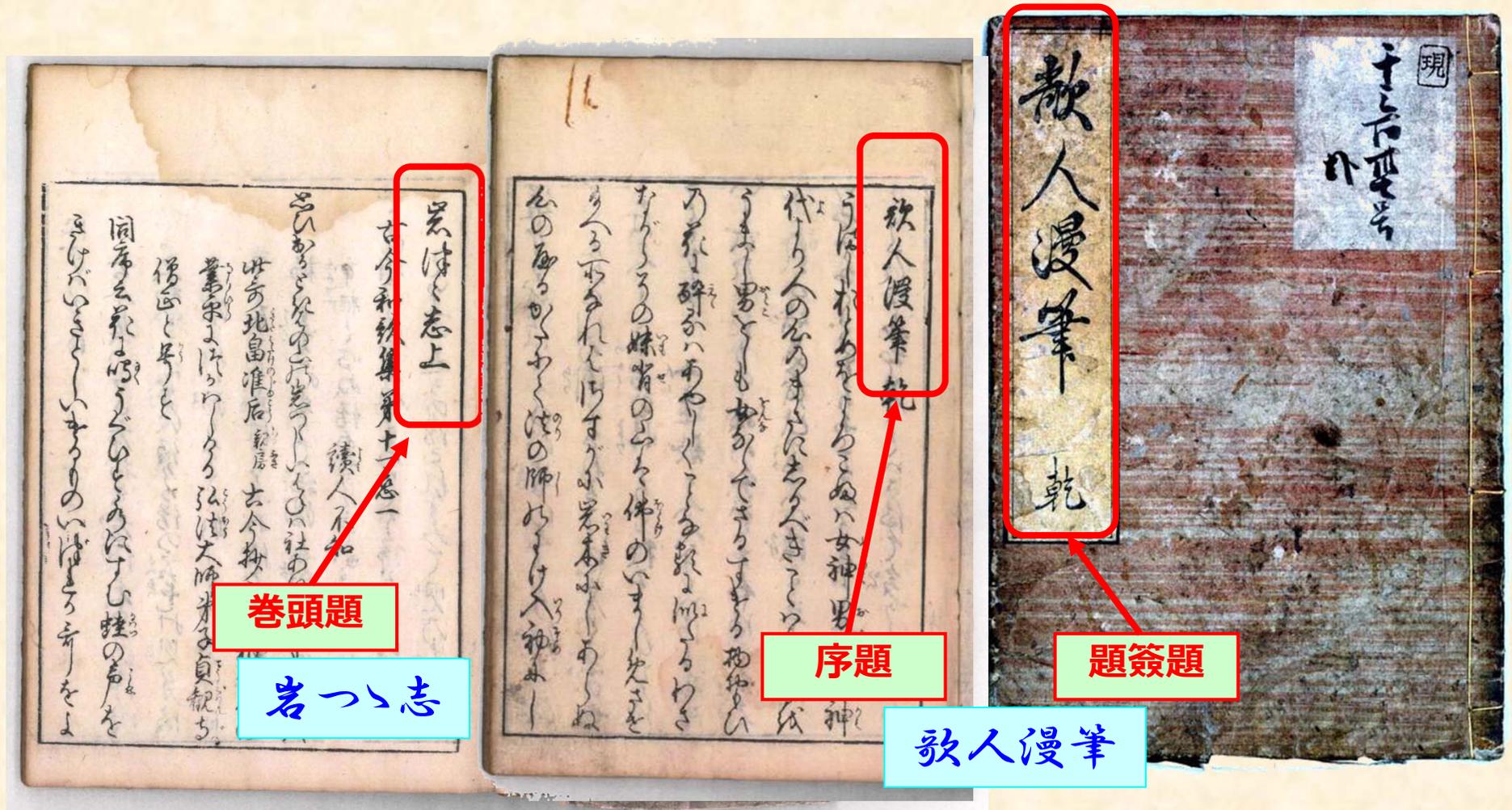
「徒然草」

# 記載箇所によって書名が異なる例 (1)

『山城名所記』



# 記載箇所によって書名が異なる例 (2)



『岩つ志』 ⇒ 『歌人漫筆』

## 2. 書写資料の多さと系統

### 書写資料の多さ



### 近世以降も日常的に行われた書写

- 「書本屋」 ⇒ 『京雀』『江戸鹿子』など
- 貸本屋の書写
- 書写のみで流布 ⇒ 『折たく柴の木』『藩翰譜』

### 書写資料の伝存

- 古典籍DB (36%) , NACSIS-CAT (45%) , 入札目録 (55%)

# 異本の多さと「系統」

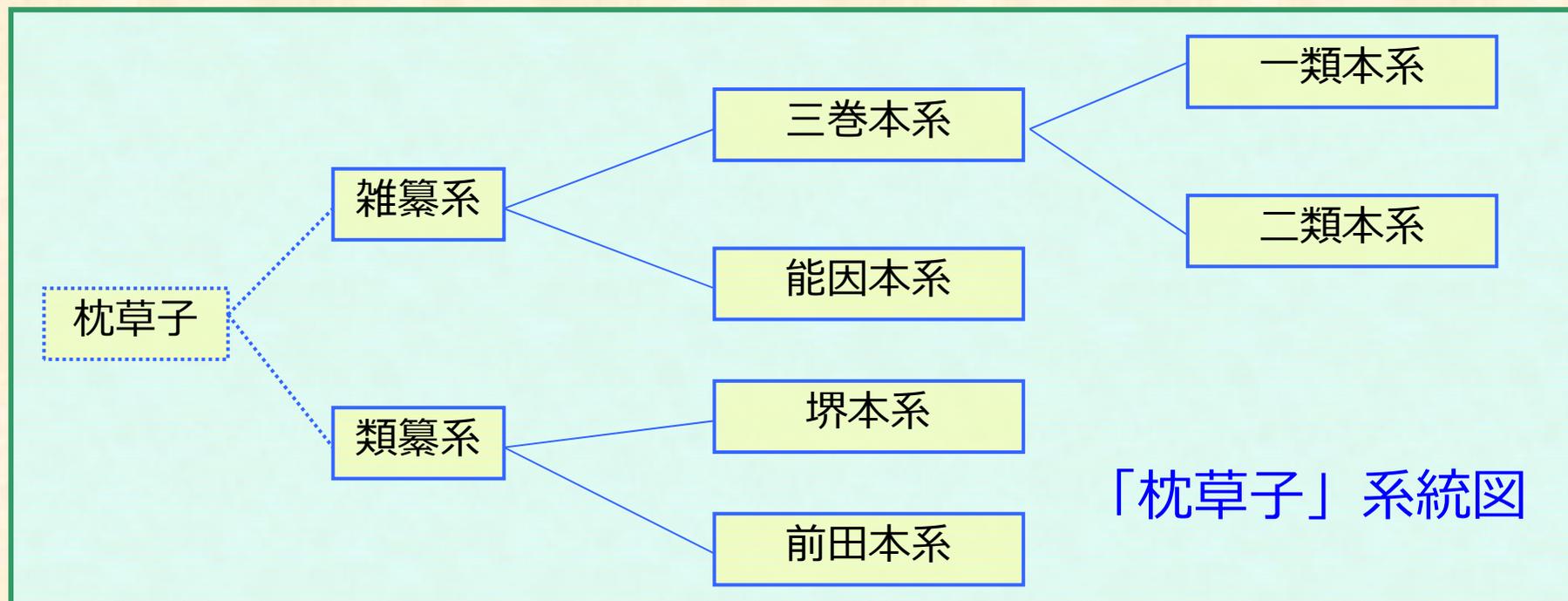
- 書写による異文の発生

書写時の誤り

意図的改竄

抜き書きの作成

- 系統 ⇒ 同じ特徴の異文をもつ資料群



# 「枕草子」 (日本古典籍総合目録)

著作ID	58571
統一書名	枕草子(まぐらのそうし), K. 1
別書名	[1] 清少納言(せいしょうなごん) [2] 清少納言枕草子(せいしょうなごんまぐらのそうし) [3] 枕草紙(まぐらのそうし)
分類	随筆
著者	清少納言
著作注記	<欧> 欧州所在日本古書総合目録にも元一あり。
国書所在	<p>【写】国会(異本、一冊)、内閣(三巻本、三冊)、静嘉(三巻本、嘉永二写三冊)、「異本枕草紙」(堀本、下巻一冊)、「清少納言枕草紙」(堀本、一冊)、宮書(三巻本、上巻上欠、江戸初期写三冊)(七冊)、「枕草紙」(一冊)、「枕草紙異文」(池底叢書三三)(堀本、欠本、一冊)、「枕草紙」(一冊)、東山御文庫(「清少納言枕草紙」(堀本、下巻一冊)、伝後小松天皇写一冊)、学習院三條西(能因本) 伝三條西実隆または三條西公衆写二冊)、関大(「枕草子異本」、岩崎美隆写一冊)、京大(三巻本、陽明蔵本写二冊)(三巻本、三冊)(堀本、京都府鈴木義藤蔵本写二冊)(欠本、嘉永四永沢伴雄写一冊)(抄、一冊)、「枕草紙」(三巻本、下巻一冊)、教大(七帖)(三巻三冊)、実践(「清少納言校本」、六冊)(二冊本二部)、東北大(七冊)、竜谷(三巻本、上巻下、室町時代写一冊)、岩手(黒川盛隆写五冊)、岩瀬(三巻本、天明二御原紀光写三冊)(二冊)、刈谷(三巻本、中巻欠、江戸中期写二冊)、京都三時知恩寺(堀本、下巻欠、江戸中期以前写一冊)、彰考(一冊)、神宮(寛永六写七冊)、鈴鹿(三巻本、延宝二写二冊)(三巻本、下巻一冊)、尊経(前田家本、伝藤原為氏写四帖、重文)(三巻本、室町中期写五冊)、「四季物語」、堀本、残欠、一冊)、多和(「枕草紙異本」、堀本、三冊)、天理(三巻本、下巻、室町末期写一冊)(江戸初期写七卷二冊)(国籍類書一六・一九、四帖)、無窮神習(「異本枕草紙」(堀本、一冊)、陽明(三巻本、上巻上欠、室町中期写三冊、中巻は重美)(三巻本、上巻上欠、江戸初期写三冊)、「枕草紙」(堀本、一冊)、近衛家熙写一冊)、竜門(堀本、元禄九写二卷二冊)、輪王寺天海(五卷五冊)、多承(「拾芥抄令集解枕草子」(堀本、一冊)、寛政一〇多忠勇写一冊)、勸修寺家(三巻本、伝勸修寺教秀写三冊)、高松宮(三巻本、上巻上欠、三冊)、細川家(能因本、細川幽斎写二冊)、尾崎久弥(元禄四光近写七冊)、岸上慎二(堀本、二冊)(三巻本、三冊)(三巻本、中巻一冊)、田中重太郎(三巻本、江戸初期写三冊)、戸川浜男(三巻本、上巻上欠、三冊)、七海兵吉(三巻本、三冊)、西下経一(能因本、五冊)、武藤辰三郎(三巻本、三冊、重美)、吉田幸一(能因本、伝猪苗代兼与写二冊、重美)、「清少納言枕草紙」(堀本、一冊)、永禄三写一冊)(三巻本、江戸初期写三冊)(堀本、江戸初期写二冊)【版】&lt;慶長古活字版(五卷五冊)&gt;内閣、天理古義堂(零本、一冊)、祐徳、横山重&lt;慶長元和古活字版(五卷五冊)&gt;東洋岩崎(四冊)、京大(巻三欠、四冊)、神宮、高木、陽明、岡田真&lt;寛永古活字版(五卷五冊)&gt;国会、内閣、静嘉、東洋岩崎、京大、京大谷村(巻一)、教大、実践、広島大、大東急、高木、茶園成實、天理(巻一)、東大寺、正宗、竜門&lt;慶安二版(七卷七冊)&gt;国会、内閣、静嘉、宮書、岡山大池田、金沢大、九大(三冊)、京大(二巻二冊)、教大、国学院、早大、東大、阪大(四冊)、大分(巻一・二・四、碩田叢史の内、三冊)、大阪府石崎、日比谷加賀、飯田(四冊)、横山(四冊)、多和、茶園成實(四冊)、天理吉田、旧浅野、旧彰考(四冊)&lt;刊年不明&gt;慶大(一冊)【複】[活]いて心本刊行会・岩波文庫・角川文庫・群書類従雑・校註国文叢書六・校註日本文学大系三・国文大観七・国民大観七・国民文庫・古典文庫・新釈日本文学叢書五・大日本文庫随筆文学集・日本古典全集二期・日本古典全書・日本古典文学大系・日本文学全書二・日本文学類従随筆文学集・博文館叢書・万有文庫・有朋堂文庫・校註三巻本枕草子(岸上慎二、昭和三六)・校註枕草子(山岸徳平、昭和四一)・校本枕草子(田中重太郎、昭和二八・三二)・清少納言枕草子(藤村作、昭和三)・前田家本枕草子新註(田中重太郎、昭和二六)、[複]尊経閣叢刊・校本枕草子附巻(枕草子拔書本・富岡本枕草子)</p>
著作種別	和古書

異本

能因本

抜書

三巻本

堀本

### 3. 版本再利用による多様性

近世印刷の主流 ⇒ 整版 (版本を使った印刷)

出版権利対象物として売買も

#### 多様な再利用

同じ版元による  
再印刷・出版

異なる版元に  
よる印刷・出  
版

内容を一部修訂  
して印刷・出版

版木を別の出版  
物の一部として  
印刷・出版

# 最重要課題としての「刊・印・修」

## 刊

- 版木が彫り上げられ、その版木によって刷り上げられたものが、最初に刊行された時点

印刷資料（版本）にとって最重要事項だが、実際には分かることが少ない

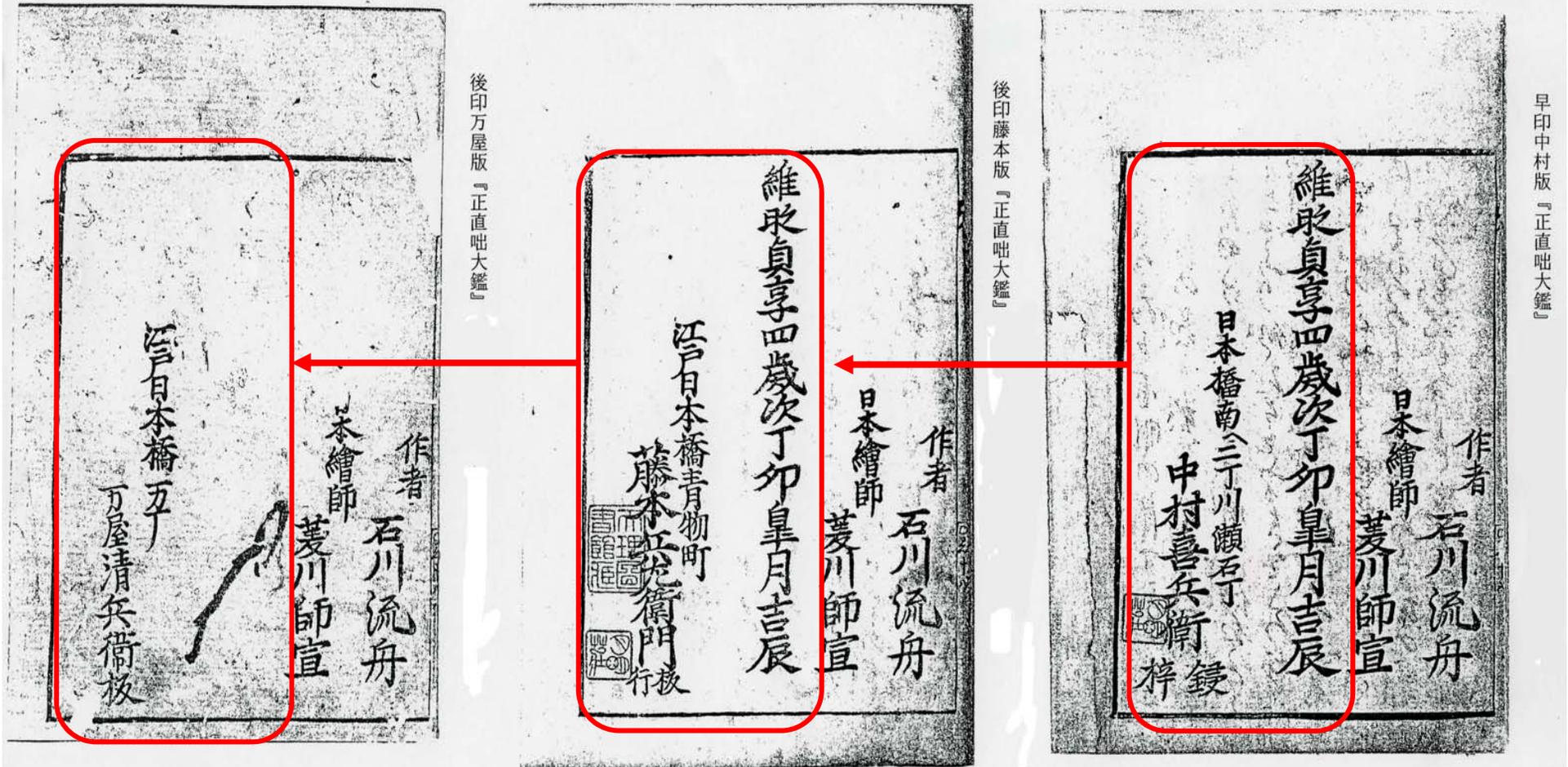
- 彫り上がった版木（版）を用いて刷り上げること。即ち、書誌学用語としての「印」はその本が実際に刷り上げられた時点

## 修

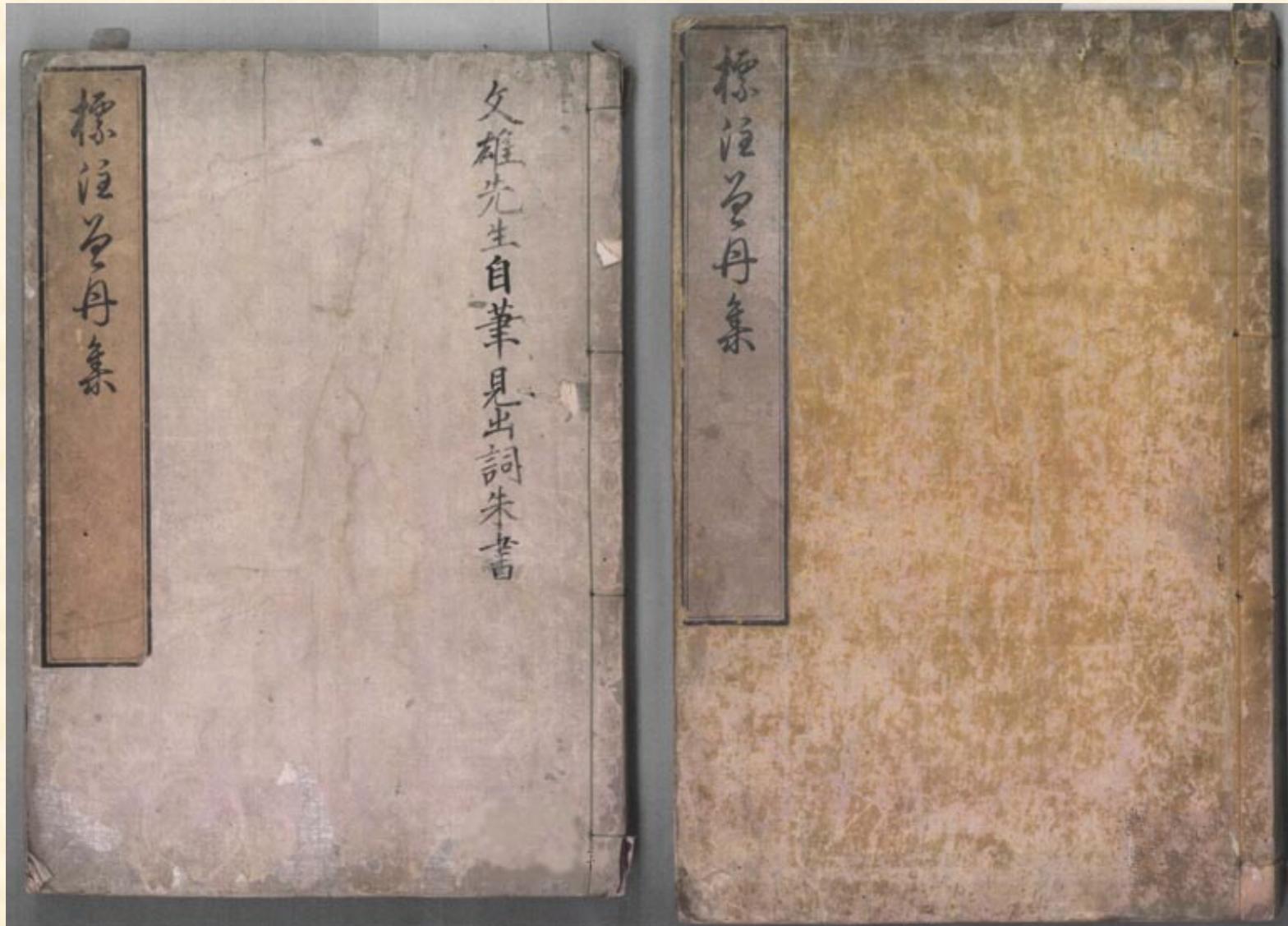
- 彫り上がって完成した版木に、その後何らかの故障が生じたり、改修の必要が生じて、全面改刻ではなく、部分的に修訂を施した時点

# 刊記を比べて分かる版木の移動例

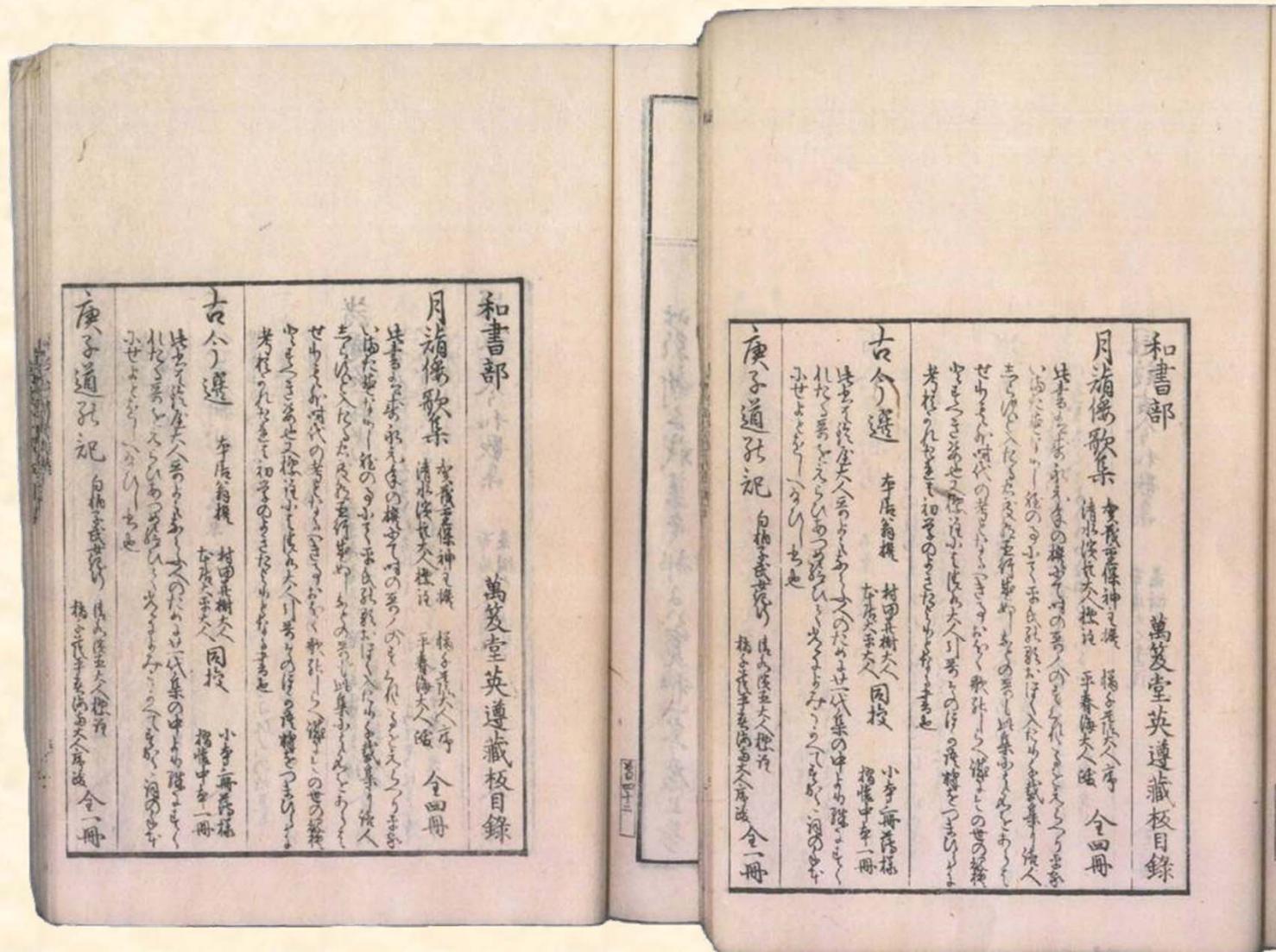
## 「正直咄大鑑」刊記3種



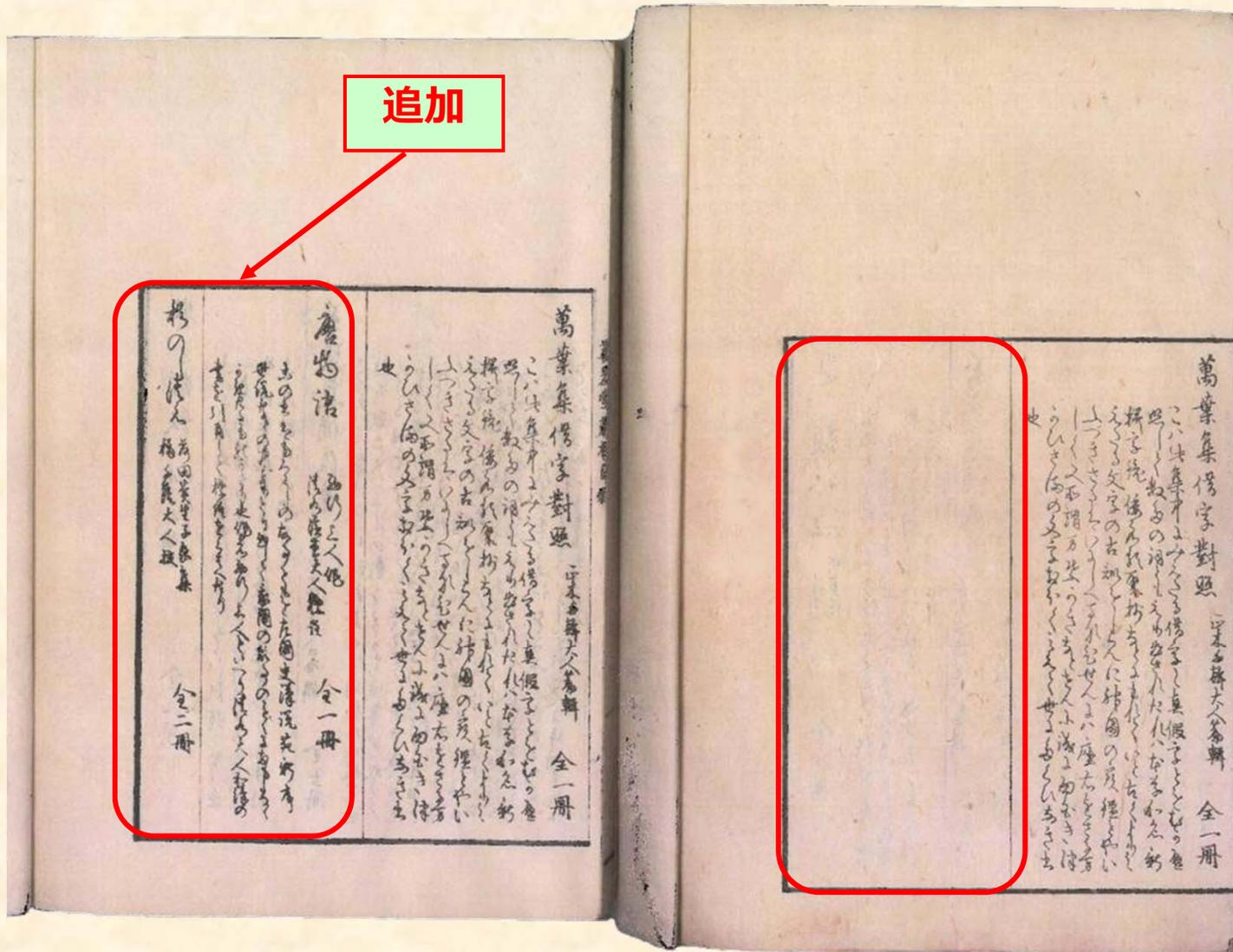
# 「印」の違いが判明する例「標註曾丹集」2種



# 「印」の違いが判明する例「標註曾丹集」2種



# 「印」の違いが判明する例「標註曾丹集」2種



# 「枕草子」 (日本古典籍総合目録)

統一書名	枕草子(まくらのそうし)ナ、ク、1
別書名	[1] 清少納言(せいしょうなごん) [2] 清少納言枕草子(せいしょうなごんまくらのそうし) [3] 枕草紙(まくらのそうし)
分類	随筆
著者	清少納言
著作注記	<欧> 欧州所在日本古書総合目録にもデータあり。
国書所在	<p>【写】国会(異本、一冊)、内閣(三巻本、三冊)、静嘉(三巻本、嘉永二写三冊)〔異本枕草紙、堺本、下巻一冊〕(「清少納言枕草紙抜書」、一冊)、宮書(三巻本、上巻上欠、江戸初期写三冊)(七冊)〔枕草紙、一冊〕(「枕草紙異文」、池底叢書三三)(堺本、欠本、一冊)〔枕草紙抜書、一冊〕、東山御文庫(「清少納言枕草紙抜書」、伝後小松天皇写一冊)、学習院三条西(能因本、伝三条西実隆または三条西公桑写二冊)、関大(「枕草子異本」、岩崎美隆写一冊)、京大(三巻本、陽明蔵本写二冊)(三巻本、三冊)(堺本、京都府鈴木義蔵蔵本写二冊)(欠本、嘉永四永沢伴雄写一冊)(抄、一冊)〔枕草紙抜書、三巻本、下巻一冊〕、教大(七帖)(三巻三冊)、実践(「清少納言校本」、六冊)(二冊本二部)、東北大(七冊)、竜谷(三巻本、上巻下、室町時代写一冊)、岩手(黒川盛隆写五冊)、岩瀬(三巻本、天明二御原紀光写三冊)(二冊)、刈谷(三巻本、中巻欠、江戸中期写二冊)、京都三時知恩寺(堺本、下巻欠、江戸中期以前写一冊)、彰考(一冊)、神宮(寛永六写七冊)、鈴鹿(三巻本、延宝二写二冊)(三巻本、下巻一冊)、尊経(前田家本、伝藤原為氏写四帖、重文)(三巻本、室町中期写五冊)〔四季物語、堺本、残欠、一冊〕、多和(「枕草紙異本」、堺本、三冊)、天理(三巻本、下巻、室町末期写一冊)(江戸初期写七卷二冊)(国籍類書一六・一九、四帖)、無窮神習(「異本枕草紙」、堺本、一冊)、陽明(三巻本、上巻上欠、室町中期写三冊、中巻は重美)(三巻本、上巻上欠、江戸初期写三冊)〔枕草紙抜書、近衛家照写一冊〕、竜門(堺本、元禄九写二巻二冊)、輪王寺天海(五巻五冊)、多家(「拾芥抄令集解枕草子抜書」、寛政一〇多忠勇写一冊)、勤修寺家(三巻本、伝勤修寺教秀写三冊)、高松宮(三巻本、上巻上欠、三冊)、細川家(能因本、細川幽斎写二冊)、尾崎久弥(元禄四光近写七冊)、岸上慎二(堺本、二冊)(三巻本、三冊)(三巻本、中巻一冊)、田中重太郎(三巻本、江戸初期写三冊)、戸川浜男(三巻本、上巻上欠、三冊)、七海兵吉(三巻本、三冊)、西下経一(能因本、五冊)、武藤辰三郎(三巻本、三冊、重美)、吉田幸一(能因本、伝猪苗代兼与写二冊、重美)〔清少納言枕草紙抜書〕、永禄三写一冊)(三巻本、江戸初期写三冊)(堺本、江戸初期写二冊)【版】慶長古活字版(五巻五冊)内閣、天理古義堂(零本、一冊)、祐徳、横山重&lt;慶長元和古活字版(五巻五冊)&gt;東洋岩崎(四冊)、京大(巻三欠、四冊)、神宮、高木、陽明、岡田真&lt;寛永古活字版(五巻五冊)&gt;国会、内閣、静嘉、東洋岩崎、京大、京大谷村(巻一)、教大、実践、成島大、大東急、高木、茶園成實、天理(巻一)、東大寺、正宗、竜門&lt;慶安二版(七巻七冊)&gt;国会、内閣、静嘉、宮書、岡山大池田、金沢大、九六(三冊)、京大(二巻二冊)、教大、国学院、早大、東大、阪大(四冊)、大分(巻一・二・四、碩田叢史の内、三冊)、大阪府石崎、日比谷加賀、飯田(二冊)、桜山(四冊)、多和、茶園成實(四冊)、天理吉田、旧浅野、旧彰考(四冊)&lt;刊年不明&gt;慶大(一冊)【複】〔活〕いて心本刊行会・岩波文庫・角川文庫・群書類従雑・校註国文叢書六・校註日本文学大系三・国文大観七・国民大観七・国民文庫・古典文庫・新釈日本文学叢書五・大日本文庫随筆文学集・日本古典全集二期・日本古典全書・日本古典文学大系・日本文学全書二・日本文学類従随筆文学集・博文館叢書・万有文庫・有朋堂文庫・校註三巻本枕草子(岸上慎二、昭和三六)・校註枕草子(山岸徳平、昭和一四)・校本枕草子(田中重太郎、昭和二八・三二)・清少納言枕草子(藤村作、昭和三)・前田家本枕草子新註(田中重太郎、昭和二六)、〔複〕尊経閣叢刊・校本枕草子附巻(枕草子抜書本・富岡本枕草子)</p>
著作種別	和古書

慶長元和  
古活字版

慶長古活字版

慶安  
二版

# 和古書における「識別」

---

# 識別 ( Identification )

## *Rules for Descriptive Cataloging in LC*

- To state the significant feature of an item with the purpose of distinguishing it from other items and describing its scope, contents, and bibliographic relations to other items

## *Statement of International Cataloguing Principles*

- to confirm that the entity described in a record corresponds to the entity sought or to distinguish between two or more entities with similar characteristics

# 識別と書誌情報の採録

## 書誌記述の作成

- 書誌記述規則に従い記録する
- 書誌記述で他と区別できるように記述



当該資料は「**これである**」ということを示す

## 和古書利用者の多様な「識別」

### 識別の内容の相違

- 印刷本と書写本
- 成立・流通した時代や主題分野
- 書誌学的な分野

# 識別の例

## 書写本

- 個別資料ごとにすべて異なる
- テキスト問題 ⇒ 系統
- 製作された年代と関連資料との製作の前後

## 同名異本

- 著作の異同

## 印刷本

- 初刷後刷, 版元の異同, テキスト補訂

# 書誌レコード作成と同じ本

---

書誌（レコード）作成単位と版（edition）

# 同じ本？

馬琴

『松染情史秋七草』

卷三 第18丁ウ-第19丁オ

「微運を嘆じて正元田楽の櫓上に自殺す」

初刷本



# 同じ本？

欠落



馬琴

『松染情史秋七草』

卷三 第18丁ウ-第19丁オ

「微運を嘆じて正元田楽の檣上に自殺す」

後刷本





## 「同じ本」と資料の識別

- 利用者の視点
  - 近現代刊行資料における「同じ本」と和古書資料における「同じ本」の基準の相違
- 製作工程と現存資料
  - 「同じ本を何部集めてみても、外型・内容共に全く同一の本は殆ど無い」中野三敏氏『江戸の板本』

## 和古書目録の前提

- 記述対象資料ごとに書誌作成

# 識別性向上のための書誌情報

---

# 情報源の転記 と イメージデータ

---

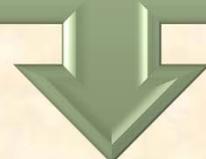
識別支援のための書誌情報

# 情報源の転記

古典籍の詳細目録では**一般的**な方法

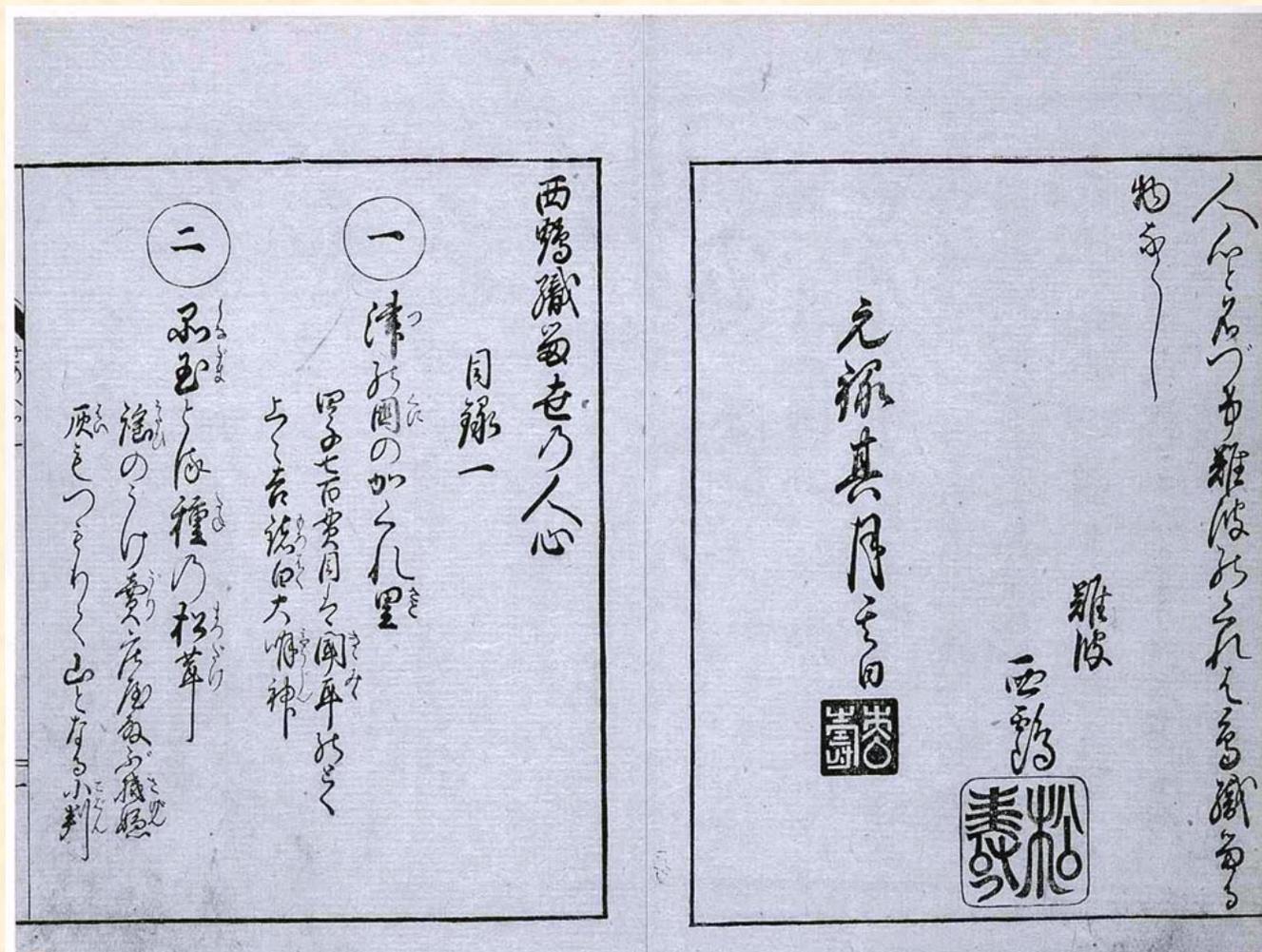


書誌採録者の**根拠情報源**の提示



利用者等と情報を**共有**

# 情報源の転記：和古書



西鶴織留 原刻本 921

# 情報源の転記：和古書

## 転記箇所

### 西鶴織留

六卷 井原西鶴著  
元禄七刊(京都) 上村平左衛門等 六冊

九二

目首「西鶴織留世乃人心／目録一(一六)」「卷三・五は「乃」を「農」に、卷六は「能」に作る) 題簽左肩双辺一六・六糎三・三糎入繪西鶴織留 世の人心(四)「入繪西鶴おりとめ 二(五)よの人心(六)」入繪西鶴織留世の人心(六)

刊記「元禄七甲／三月吉日／江戸 万屋清兵衛／大坂 鴈金屋庄兵衛／京 上村平左衛門板」

袋綴 改装縹色表紙 二五・八糎一八・六糎 四周単辺二〇・五糎 一五・七糎 十二行二十三至二十八字 版心上魚尾「世の人心 一(一六) (丁付)」 六卷 六冊 (一) 自序一丁(末「難波／西鶴」(刻印)「松壽」／元禄其月其日 (刻印)「松壽」(陰刻)二) 卷一・二一丁(初丁目録、以下各卷同) (二) 卷二・二十丁 (三) 卷三・十七丁 (四) 卷四・十九丁 (五) 卷五・十六丁(一六 七九 十(一八) (六) 卷六・十六丁半 刊記半丁(十七ウ) 挿画(卷一) 三ウ四オ 八ウ九オ 十四オ 十八ウ十九オ (卷二) 三ウ四オ 八ウ九オ 十四ウ 十五オ 二十オ (卷三) 三ウ四オ 八オ 十一ウ十二オ 十七終オ (卷四) 三ウ四オ 九オ 十四ウ十五オ (卷五) 四ウ五オ 十ウ十一オ 十六オ (卷六) 三ウ四オ 九オ 十五ウ十六オ

原刻本

各冊後見返に「鳥羽大澤(沢)又左衛門」と墨書あり 印

記「大澤氏藏書印」「昏魚庵藏書」

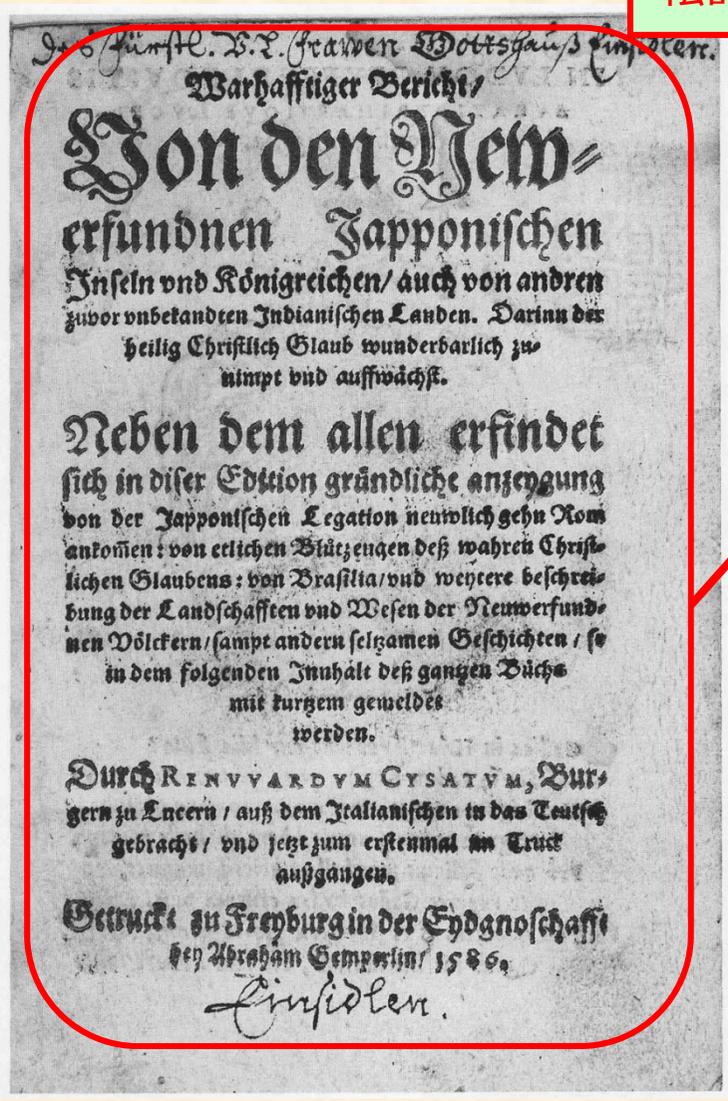
『西鶴織留』(『近世文学資料類従』

西鶴編16) — 参照

九三・六丁イ三七九

# 情報源の転記 : 西洋古書

転記



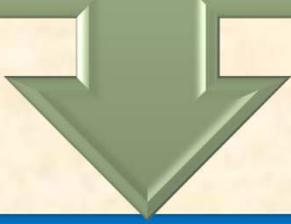
277 Cysatus, Renwardus (1545-1614)  
 Warhafftiger Bericht von den neuer-  
 fundnen Japponischen Inseln und  
 Königreichen. 1586.

[In black and red] Warhafftiger Bericht /  
 Von den New- // erfundnen Japponischen //  
 Inseln vnd Königreichen / auch von andren //  
 zuvor unbekandten Indianischen Landen. Darinn //  
 der // heilig Christlich Glaub wunderbarlich zu- //  
 nimpt vnd auffwächst. // Neben dem allen erfindet //  
 // sich in diser Edition gründliche anzeigung //  
 von der Japponischen Legation neuwlich gehn //  
 Rom // ankomen: von etlichen Blützeugen des //  
 wahren Christ- // lichen Glaubens: von Brasilia //  
 / vnd weytere beschrei- // bung der Landschaften //  
 und Wesen der Newerfund- // nen Völkern / //  
 sampt andern seltsamen Geschichten / so // in //  
 dem folgenden Innhalt des gantzen Büchs // mit //  
 kurtzem gemeldet // werden. // Durch REN- //  
 VVARDVM CYSATVM, Bur- // gern zu //  
 Lucern / auß dem Italianischen in das Teutsch //  
 // gebracht / vnd jetzt zum erstenmal im Truct //  
 // ausgegangen. // Getruckt zu Freyburg in der //  
 Eydnoschafft // bey Abraham Gempelin / 1586.

8 : A b 1 A-2B, 272 leaves, pp.  
 [18] 1-107 [19] 1-210 231-276 257-393  
 [7], map [1], 23 lines (C3<sup>a</sup>) 110(120) ×  
 71mm. Gothic 96.  
 \*A1<sup>a</sup> title, \*A1<sup>b</sup> IN LVDOV. PFYF-  
 FERI ..., \*A2<sup>a</sup>-\*A7<sup>b</sup> Vorrede, dated 1585,  
 by 'Renwart Cysat', \*A8 contents, b1<sup>a</sup>  
 Vorrede, b1<sup>b</sup> blank, b2<sup>a</sup>-h7<sup>a</sup> Von der  
 Insel Jappon, h7<sup>b</sup>-i6<sup>a</sup> Erklärung der  
 Japponischen Worten, i6<sup>b</sup>-i8<sup>b</sup> Beschluß,  
 A1<sup>a</sup>-N8<sup>b</sup> Wahre Geschichtßerzählung Jap-  
 ponischer Inseln, d.i. letter by Casper  
 Coelho, 1582, O1<sup>a</sup>-2B5<sup>b</sup> tract & letters,  
 by Alex. Valignano 1585, by Petrus  
 Diaz 1570, by Franciscus Henricus 1571,  
 by Quintus Caxa 1575, 2B6<sup>a</sup>-2B8<sup>a</sup> errata,  
 2B8<sup>b</sup> blank. Map, folding, opp. i8<sup>b</sup>, 262 ×  
 406mm., woodcut, 'Der grossen / nam-  
 hafften / neuwlicherfundnen Japponischen  
 Insel.'  
 In vellum, written a music in black  
 and red. Signature on title: Einsidler  
 [?]. Ex libris: Tandammann Rediger.  
 152 × 100mm. 198. 2-1844(1. 189)

# テキストデータの限界

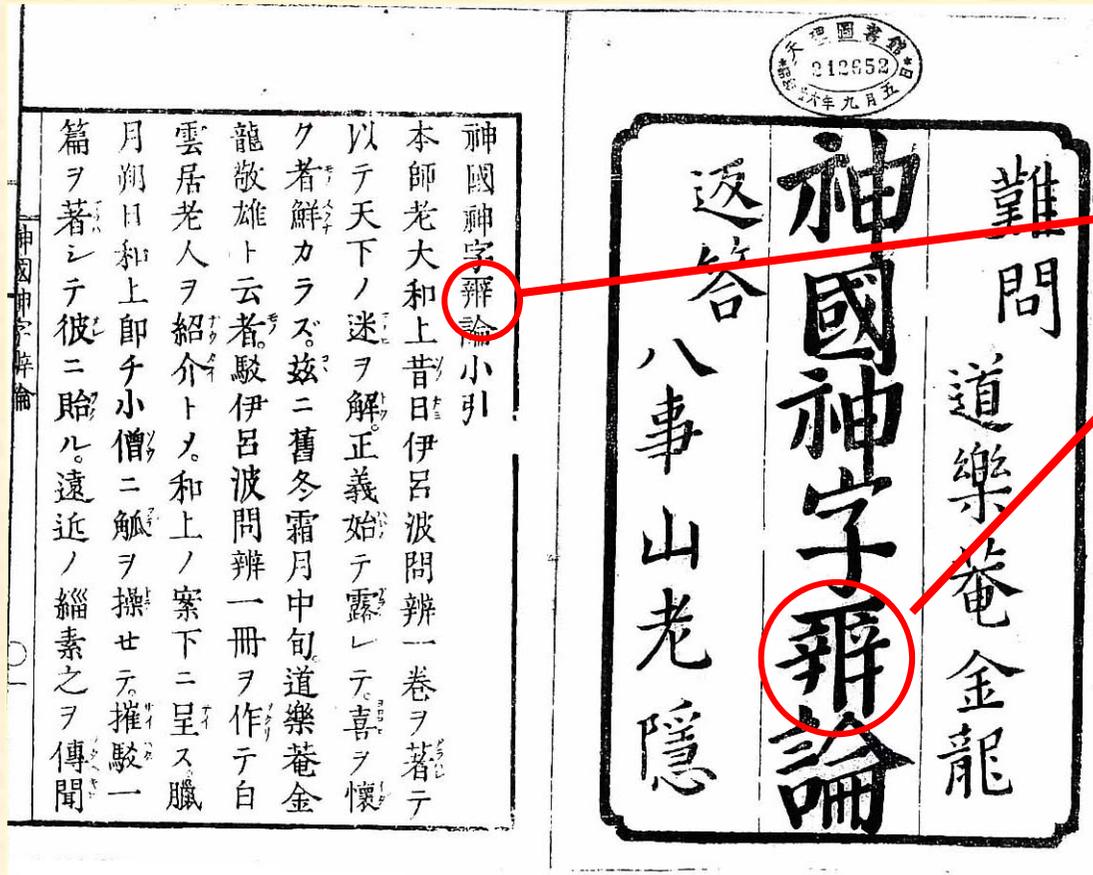
テキストデータによる提示の限界



文字の再現性

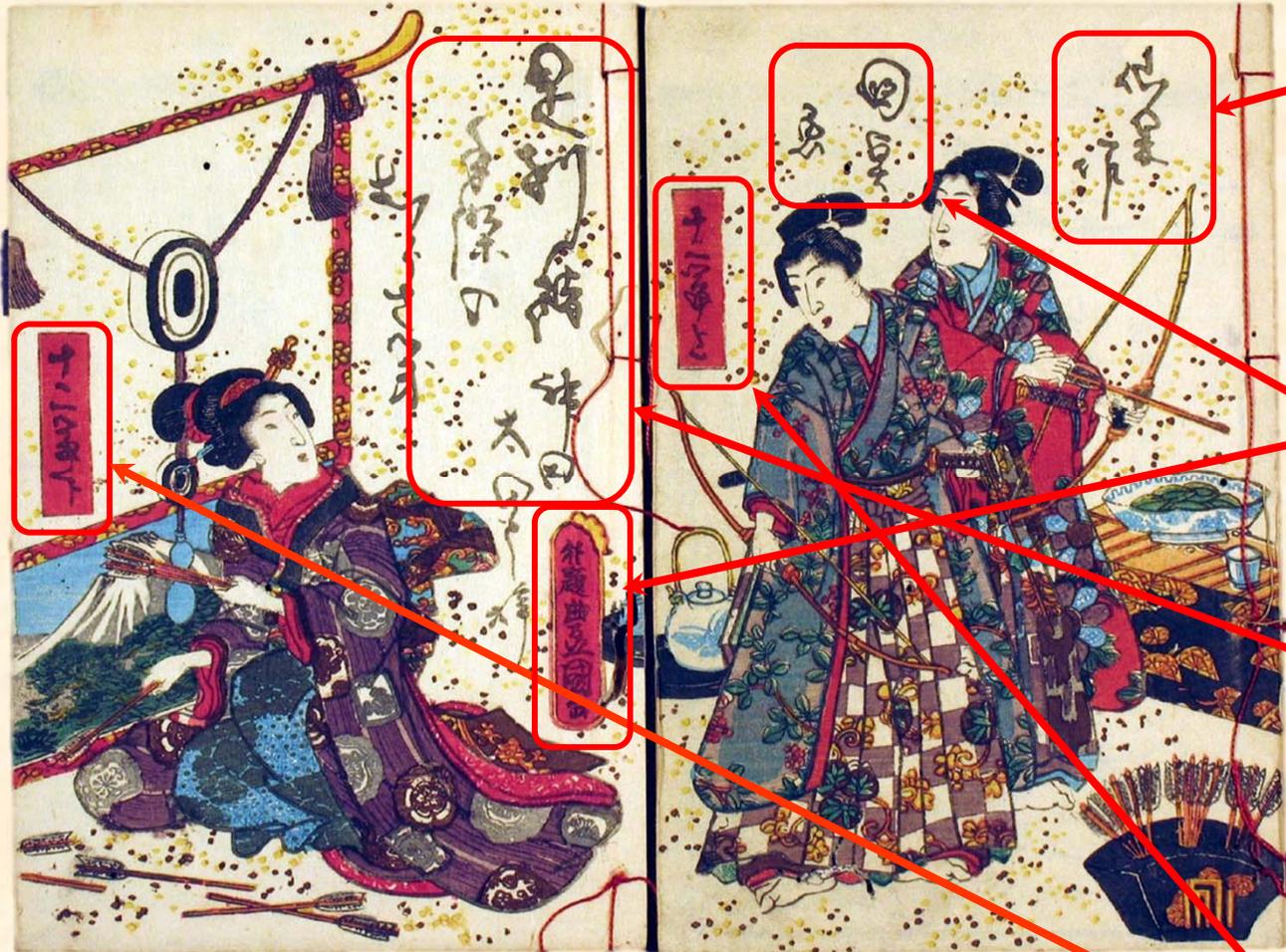
レイアウトの再現性

# 文字の再現性 (例：「辨」)



書いた文字を元に  
 版木を作成  
 文字が多様  
 UNICODEになし

# レイアウトの再現性の問題



責任表示：作者

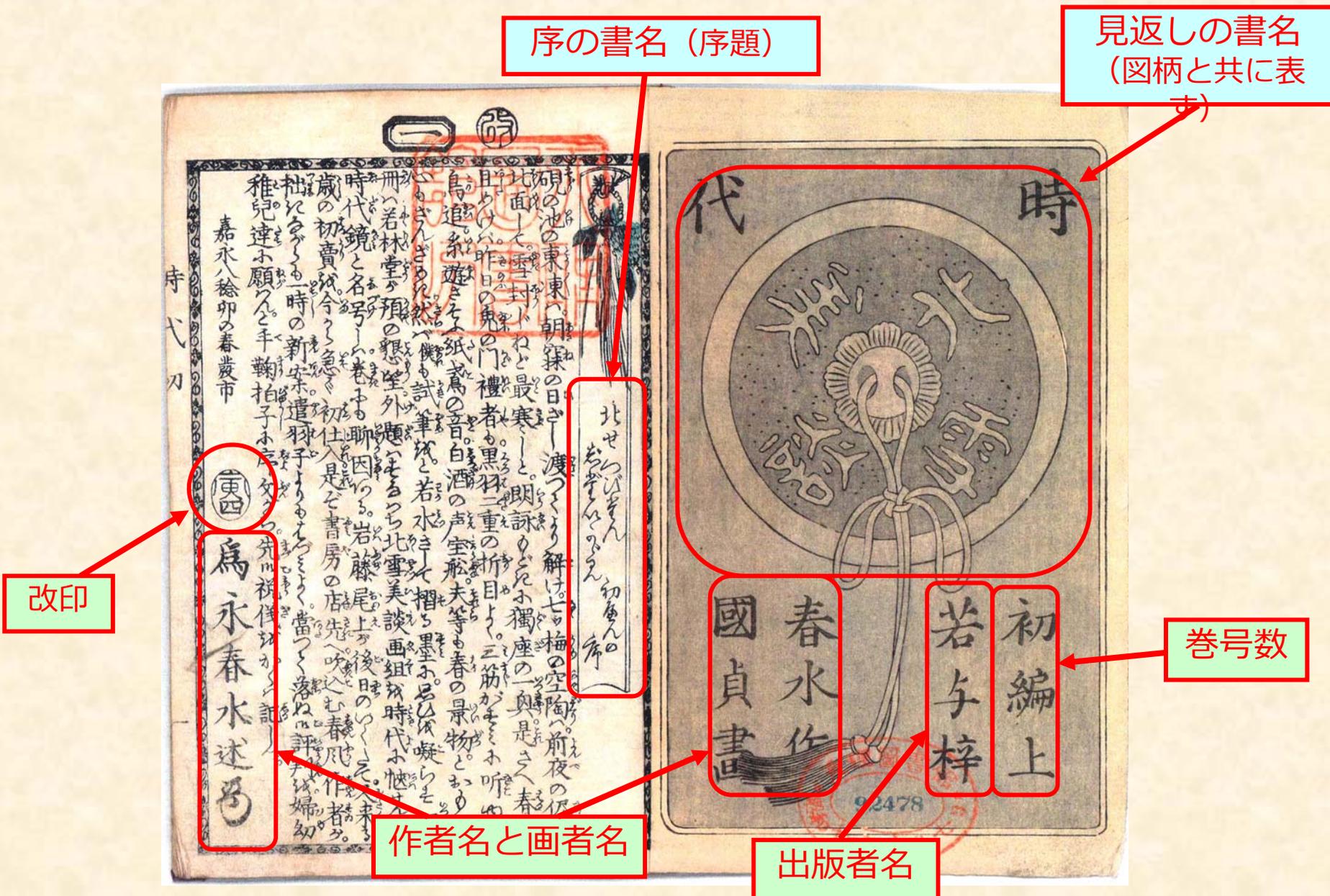
責任表示：画者

タイトル

巻数表示

合巻：上下篇で一つの表紙

# 図柄と一体化した表現



序の書名 (序題)

見返しの書名 (図柄と共に表す)

改印

巻号数

作者名と画者名

出版者名

烏永春水述

時 代

初編上  
若手梓  
春水佐  
國貞書

冊へ若林堂の預の懇望外題はまらち北雪美談画組時代小愼らそ  
 時代鏡と名号の巻中聊因る若藤尾上後日のいへる未  
 歳初賣紙今急初仕入是と書房の店先吹む春尺作者  
 拙に多し一時の新宋遣羽子よりもつとく當つて落ぬ評大城婦幼  
 稚兒達不願つて手鞠拍子小序文の先而撰作か評記  
 嘉永八稔卯の春農市  
 寺代刃

北せつびきん 初巻の序

92478

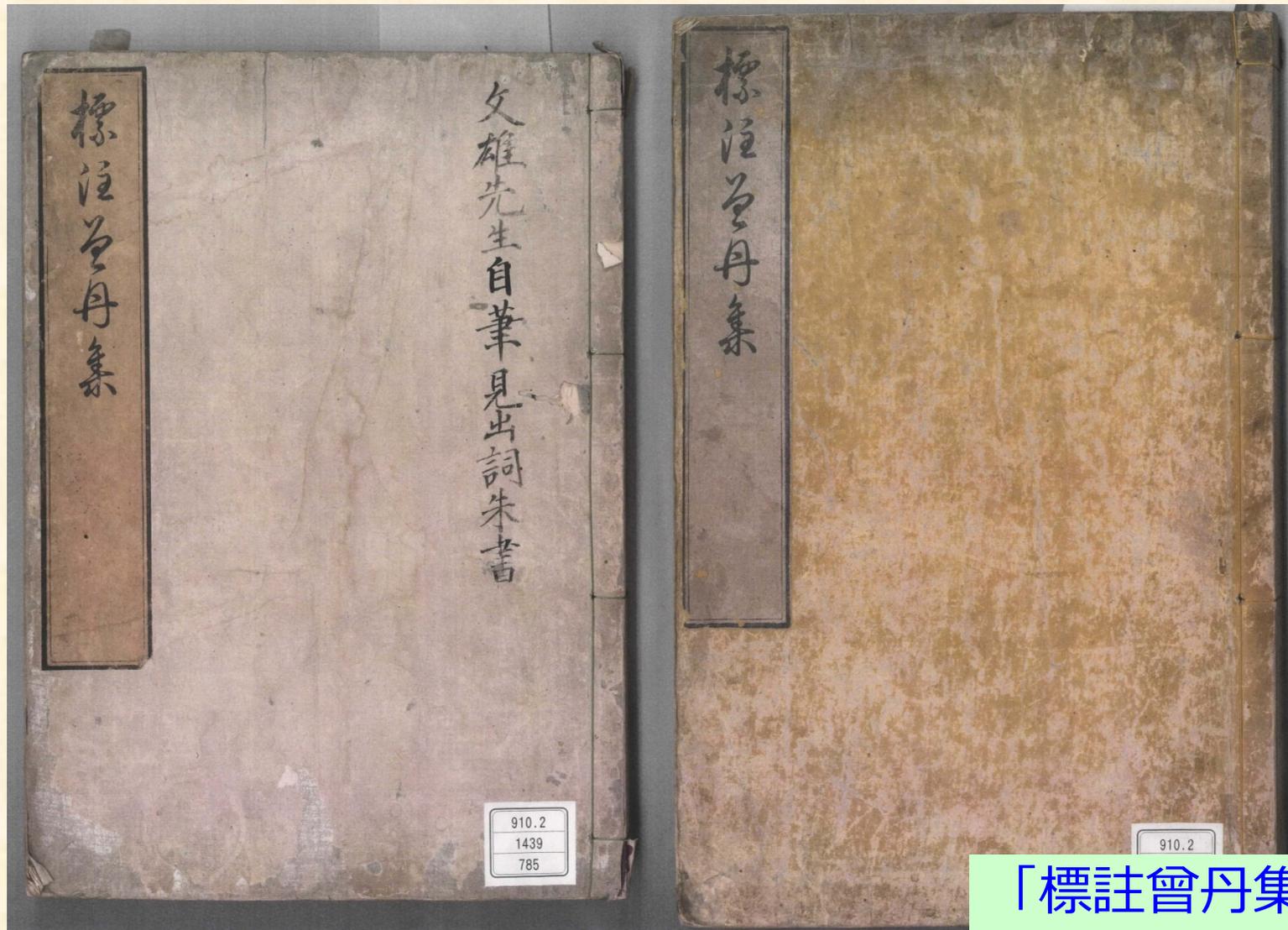
# 書誌記述としてのイメージデータ

情報豊かなイメージデータ



テキスト化が難しい「色」  
雰 囲 気  
映り込むさまざまな情報

# 表紙の色や雰囲気，大きさが異なる



「標註曾丹集」2種



## 記述の情報源の提示

記述の情報源の  
テキストデータでの注記



書誌記述項目としての  
記述の情報源のイメージデータ

# 和古書目録作成の支援

---

参照データの共有



和古書書誌作成の研修

# 参照データの共有

- 電子くずし字字典（奈良文化財研究所・東大史料編纂所）
  - <http://r-jiten.nabunken.go.jp/kensaku.php>
- 表紙文様集成（国文学研究資料館→在外日本古典籍研究会）
  - <http://www.nijl.ac.jp/pages/images/hyousimonyou.pdf>
- 蔵書印データベース（国文学研究資料館電子資料館）
  - [http://base1.nijl.ac.jp/~collectors\\_seal/](http://base1.nijl.ac.jp/~collectors_seal/)
- 和古書イメージデータ
  - 九州大学附属図書館 読本データベース
  - 東京学芸大学附属図書館 望月文庫（往来物・明治教科書）
  - 東京大学附属図書館 電子版霞亭文庫（江戸小説・演劇書）
  - *etc.*

# 和古書書誌作成の研修の試み

## 「天理古典籍ワークショップ」

[Phase 1] 2007～2009年 3カ年 5日×3回 15日間  
欧米 8カ国 19名

Phase 2 2013年 1カ年 10日間  
欧米大 6カ国 20名

- 和古書の目録作成と取り扱いに関する実践的研修
  - 海外において、和（漢）古書の組織化・管理ができる人材の育成，将来の地域の指導者
  - データベース目録作成を念頭にした研修

→ 「在外日本古典籍研究会」

OJAMASG : Overseas Japanese Antiquarian Materials Study Group

<http://www.jlgweb.org.uk/ojamasg/>

# 参考資料

## ● 基本資料

- 日本古典書誌学総説 / 藤井隆著 和泉書院 1991
- 日本書誌学を学ぶ人のために / 広庭基介, 長友千代治著 世界思想社 1998
- 書誌学入門 / 川瀬一馬著 ; 岡崎久司編 雄松堂出版 2001

## ● 辞典

- 日本書誌学用語辞典 / 川瀬一馬著 雄松堂書店 1982
- 日本古典籍書誌学辞典 / 井上宗雄 [ほか] 編著 岩波書店, 1999

## ● 関連読み物

- 日本の古典籍 : その面白さその尊さ / 反町茂雄著 八木書店, 1984
- 古書のはなし : 書誌学入門 / 長沢規矩也著 富山房, 1994
- 書誌学の回廊 / 林望著 日本経済新聞社, 1995
- 和本入門 : 千年生きる書物の世界 / 橋口侯之介著 平凡社, 2005
- 江戸の本屋と本づくり : 続和本入門 / 橋口侯之介著 平凡社, 2007
- 江戸の板本 : 書誌学談義 / 中野三敏著 岩波書店, 2010